

2010. 9 / 10 **FRI**
am 9:30 ~ pm 4:30

会場 群馬県立県民健康科学大学 第22講義室・演習室

エビデンスに基づく看護実践の推進

— “発達” という視点からみた小児看護・ナラティブに基づく精神看護 —

E v i d e n c e d B a s e d N u r s i n g

エビデンスに基づく看護実践の重要性はわかっているにもかかわらず、必要な文献が入手できない、研究結果の解釈に迷う、研究結果をどのように活用すれば良いかなど、いざとなると困っていませんか。看護実践上の問題を解決する手段のひとつに、研究成果の活用があります。看護学の研究成果は、日々の看護実践の改善に活用することができます。必要な時に必要な研究成果を入手、検討し、問題解決に役立てるために、はじめの一步を踏み出してみましょう。

am 午前

講義 「エビデンスに基づく看護実践の推進」

■ 講師 松田 安弘 教授

「“発達” という視点からみた小児看護に関する研究成果の活用」

■ 講師 横山 京子 教授

「ナラティブに基づく精神看護に関する研究成果の活用」

■ 講師 関根 正 講師

pm 午後

演習 「研究成果の検討—現場に適用するために」

「“発達” という視点からみた小児看護」「ナラティブに基づく精神看護」のテーマ毎に別れ、さらに少人数のグループで検討をすすめます。

■ 講師 看護学部教員

「発達」という視点からみた小児看護・ナラティブに基づく精神看護

エビデンスに基づく看護実践の推進



この公開講座では、講義・演習を通して、「“発達”という視点からみた小児看護」または「ナラティブに基づく精神看護」に関する研究成果を実践の場で活用できるようにすることを目的としています。ご関心のある看護職の方、ぜひご参加下さい。

- 日時 平成22年9月10日(金)
午前9時30分～午後4時30分
- 会場 群馬県立県民健康科学大学
第22講義室・演習室
- 対象 看護職の方で、午前・午後ともに受講できる方
30名
ただし、応募者多数の場合は抽選となります。
- 受講料 無料
- 申込方法 住所、氏名、電話番号、職業、テーマの選択(「“発達”という視点からみた小児看護」、「ナラティブに基づく精神看護」、「どちらでもよい」の中から1つ選択)を明記し、ハガキ、FAX、または電話、インターネットでお申し込みください。なお、申込者の個人情報は、この講座のみに用います。

申込期間 平成22年7月23日(金)～8月27日(金)

申込・問い合わせ先 群馬県立県民健康科学大学
〒371-0052 前橋市上沖町323-1
TEL.027-235-1211
FAX.027-235-2501
URL.<http://www.gchs.ac.jp>